

# 令和4（2022）年度第2回東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金事業募集要項

## 1. 趣 旨

東京海洋大学（以下「本学」という。）に、財団法人東京水産大学後援会（当時）から東京水産大学創立百周年記念学術研究奨励基金として受け入れた奨学寄附金を基に、東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金を設置し、本学における学術研究の推進奨励に必要な援助を行う。

## 2. 事 業

上記の趣旨を達成するため、本基金では次の内容の事業が設けられている。このうち、令和4年度第2回は、V種エについて募集を行う。

種 別	※ I 種	※ II 種	※ III 種	※ IV 種	V 種
事 業 名	海洋生命科学部及び海洋資源環境学部担当教員等(以下「学部教員等」という)の優れた独創的な研究に対する援助	学部教員等の海外派遣に対する援助	外国人研究者の招へい及びその研究に対する援助	海外学術研究及び国際研究集会に対する援助	海洋科学部、海洋生命科学部、海洋資源環境学部及び大学院海洋科学技術研究科所属の学生(以下「学部学生等」という。)の海外派遣並びに外国人留学生の研究に対する援助
事業内容	学際的、先端的研究活動のうち、優れた独創的研究	ア 短期海外派遣 イ 練習船利用海外派遣	優れた研究活動を行っている外国人研究者の招へい	ア 学術交流による共同研究 イ 国際研究集会(海外開催) ウ 国際研究集会(国内開催)	※1ア 学術交流協定に基づく学部学生等の海外派遣 ※2イ 外国人留学生(博士後期課程在学者)の特に優れた研究 ※2ウ 学部学生の海外研究 エ 学部学生の海外派遣演習 ①海外探検隊派遣者 ②教員立案型派遣者

(注) ※1 募集終了

※2 令和4年度は募集を行わない。

3. 募 集

令和4年度事業に係る募集を以下の通り実施する。

種 別	I 種 ～ IV 種	V 種				
		ア	イ	ウ	エ	
事業内容	募集なし	学术交流協定に基づく学部学生等の海外派遣 <u>(今回の募集で申請を受け付けるもの)</u>	外国人留学生(博士後期課程在学者)の特に優れた研究	学部学生の海外研究	学部学生の海外派遣演習	
募 集 要 項	1. 応募資格	以下①又は②に該当する者(外国人留学生を除く) ① 海洋科学部、海洋生命科学部又は海洋資源環境学部所属の学生 ② 大学院海洋科学技術研究科所属の学生のうち品川キャンパスに所属する教員が主指導教員である学生  派遣内容が「トビタテ!留学 JAPAN」(*注)の申請要件に合致する申請者は、必ず「トビタテ!」の申請も行うこと。		募集なし	募集なし	海外キャリア演習に参加が決定した海洋科学部、海洋生命科学部又は海洋資源環境学部所属の学生(外国人留学生を除く)
	申請時点で一般社団法人楽水会の準会員であること。 (入会方法は、楽水会ホームページを参照 <a href="http://rakusui.or.jp/">http://rakusui.or.jp/</a> )					
	2. 採択件数	3件程度				50件程度
	3. 期 間	1年以内				1年以内
	4. 援助内容及び援助額(限度額)	海外派遣に必要な経費支援のための奨学金 (1件当たり上限20万円)				海外派遣に必要な経費支援のための奨学金(1件当たり5～12万円)
	5. 申請書類	(1) 申請書(様式5-1) (2) 旅客運賃見積書 (原則往復エコノミークラス。可能な限り安価なものとする。) (3) 学務システムの成績情報参照画面の写し(提出時最新のもの)				(1) 申請書 ①海外探検隊: 様式5-4-1 ②教員立案型: 様式5-4-2 (2) 旅客運賃見積書(②のみ) (原則往復エコノミークラス。可能な限り安価なものとする。) (3) 学務システムの成績情報参照画面の写し(提出時最新のもの)
	6. 提出期限	①海外探検隊: 令和4年5月25日(水) 16:00 ②教員立案型: 令和4年6月10日(金) 16:00				
7. 提出先	グローバル教育研究推進機構 (global@m.kaiyodai.ac.jp Tel. 03-5463-0816)					

(\*注) トビタテ!留学 JAPAN: 官民協働で2014年から実施されている海外留学支援制度。返済不要の奨学金や事前事後研修等の支援が受けられる。

詳細についてはホームページ等 (<https://www.tobitate.mext.go.jp/about/index.html>) で確認のこと。(問合せ先: 国際・教学支援課 留学生係(内4052))

#### 4. 選考及び採否の通知

一次選考（書類審査）：「東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金運用委員会（以下「運用委員会」という。）」が行う。

二次選考（面接）：一次選考の合格者に対し「東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金の運用に関する協議会」が行う（V種-エ①海外探検隊を除く）。面接の内容は、留学又は研究計画等のプレゼンテーションを6月下旬に予定。なお、面接に使用するプレゼンテーション資料(PPT他)を準備しておくこと。

採否については、運用委員会委員長から学科主任（主指導教員）を通じ、7月上旬までに通知する。

#### 5. 申請辞退及び援助額の調整

(1) 「トビタテ！留学 JAPAN」に採用された者は、申請を辞退しなければならない。

(2) その他の奨学金等に採択となった場合は、当該奨学金の支給要件に基づき、申請の辞退を求める又は援助額の減額を行う可能性がある。

#### 6. 報告書の提出及び報告会

各事業に採択された者は、当該事業終了後1か月以内にその成果等について所定の様式（募集時添付省略）に従い、基金運用委員会委員長に報告するものとする。  
なお、終了後は報告会を開催する。

#### 7. 問い合わせ先

東京海洋大学 国際・教学支援課 国際協力係（03-5463-0675 E-mail: ks-koku@o.kaiyodai.ac.jp）